

A photograph of a child walking away from the camera on a grassy hill. The child is wearing a blue patterned shirt and dark pants. The hill is covered in green grass with some patches of dirt. In the background, there are large trees with green leaves and a wooden fence on the left. The sky is blue. A semi-transparent blue box with white text is overlaid on the upper right part of the image.

大芝高原 将来ビジョン

南箕輪村 地域づくり推進課

〒399-4592 長野県上伊那郡南箕輪村4825-1
TEL:0265-72-2104 (代表) FAX:0265-73-9799
<https://www.vill.minamiminowa.lg.jp>

2022年6月

南箕輪村 地域づくり推進課

目次

はじめに	1
コンセプト	2
将来ビジョン	4
ゾーニング	6
50年の森林づくり	8
駐車場とトイレ	10
参考資料	12

はじめに

大芝高原は、森林形成の主をアカマツとする全国でも稀な平地林で、広域的にスポーツを楽しめる場所、そして村民の癒しの場所として親しまれています。

大芝高原の広大な森の中には、温泉施設、複数のスポーツ施設、森林セラピーロード、防災研修センターなど、他では類を見ない、充実した施設がそろっており、幅広い世代の多くの皆さんに利用していただいています。

一方、多数の老朽化した施設の再整備、道の駅に対する多様な意見、さらに村の木であり、大芝高原のシンボルであるアカマツが、10年以内に松枯れにより全滅してしまう恐れがあることなど課題も多く、130年続く大芝高原の魅力を守っていくためには、明確な理念のもとに再整備を進めていかなければなりません。

そこで「村民が将来、大芝高原がどのような姿であってほしいと思っているか」について、アンケートやコンテストなどを活用して、幅広い世代の皆さんから意見を集めてまいりました。

皆さんのさまざまな想いを受け、コンセプトを「大芝高原いやしの森、いつもいつまでも」に設定いたしました。このコンセプトを基軸にして、将来ビジョンでは整備の方向性を示しております。また誰でも利用できるという観点から、バリアフリー化にも力を入れてまいります。

2025年2月に、村は村政150周年を迎えます。大芝の森を作ってきた先人の想いを引継ぎ、約130年前に始まった植林活動を再開し、200周年につなぐ50年の森林循環事業を進めていくことも、カーボンニュートラルの観点から重要であり、この「大芝高原将来ビジョン」の策定を、その事業推進のきっかけにしたいと考えております。

本ビジョン策定後は、その考え方に従って、整備費用や効果を可視化した「大芝高原施設整備計画」、さらには50年の森林循環事業を定める「大芝高原森林づくり実施計画」を策定してまいります。

村民の皆さんと共に汗をかきながら、大芝高原が、いつもいつまでもいやしの森となるよう努力を積み重ね、未来の子どもたちにつないでまいります。

2022年6月

南箕輪村長 藤城 栄文



コンセプト 大芝高原 いやしの木々
いっも いっまても



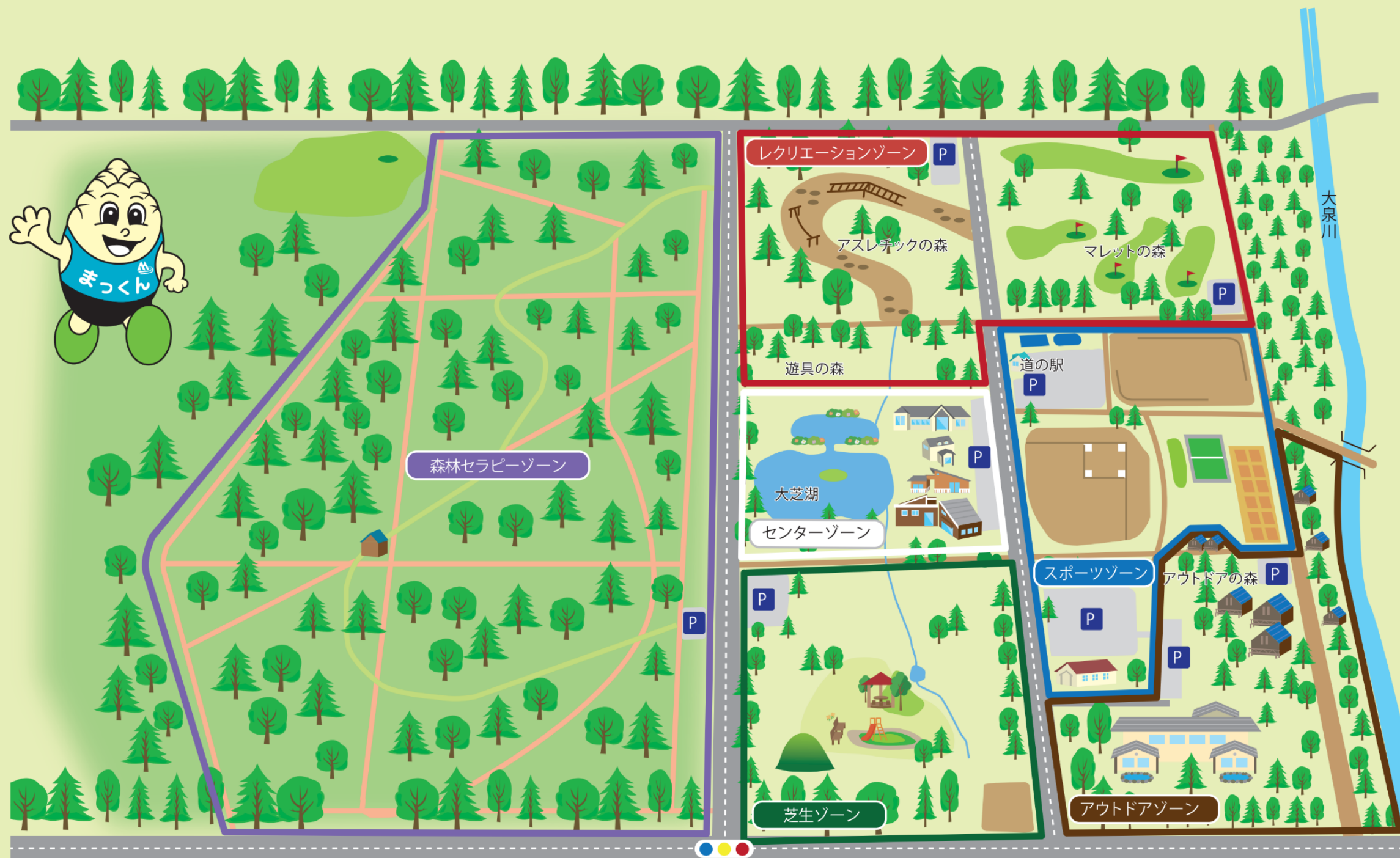
10年後の 大芝高原未来図 大芝高原 将来ビジョン

村の皆さんの中に「大芝高原に行ったことがない」という方はいらっしゃいますか？

大芝高原には温泉、スポーツ施設、森林セラピーロードなど、さまざまな施設があります。身近で誰もが気軽に利用できる森の公園それが大芝高原です。

昭和47年にスポーツ公園としての開発が始まり、野球場や陸上競技場を整備し、その後芝生の広場、温泉、森林セラピーロードと、50年の間、少しずつ整備し現在の公園の形になりました。

みんなの大芝高原が将来どのような姿であってほしいかを大芝高原将来ビジョンで示しビジョンを基に整備計画を策定し、大芝高原の魅力を維持していきます。



大芝高原は、都市公園大芝公園エリアとみんなの森エリアを合わせると、85ヘクタールもの広さがあります。

とても広いので6つのゾーンに分けて、利活用を考えました。また、北西の村有林エリアは、原則として人の手を加えない区域とし、自然中心の広がりを持った空間として整備を行います。

センターゾーン

センターゾーンは、交流や飲食、癒しを目的に、誰もが利用できる多くの観光施設により形成されるゾーンです。
道の駅としての整備と大芝荘の利活用などが求められています。

芝生ゾーン

芝生ゾーンは、それぞれが思い思いに余暇を過ごすことを目的に、誰もが利用できる広い芝生地と水の広場で形成されるゾーンです。
水の広場の清浄と犬の排泄物対策などが求められています。

レクリエーションゾーン

レクリエーションゾーンは、交流や健康増進を目的に、誰もが利用できるマレットゴルフ場やアスレチックコース、遊具により形成されるゾーンです。
マレットゴルフ場の適正な運営とアスレチックコースおよび遊具の改修が求められています。

アウトドアゾーン

アウトドアゾーンは、癒しやレジャーを目的に、誰もが利用できるアウトドア施設や温泉施設により形成されるゾーンです。
キャンプ需要に対応した改修と温泉施設の適正な維持管理などが求められています。

スポーツゾーン

スポーツゾーンは、交流や健康増進を目的に、近隣住民が主に利用できる多くのスポーツ施設により形成されるゾーンです。
施設の適正な維持管理とプール跡地の利活用などが求められています。

森林セラピーゾーン

森林セラピーゾーンは、癒しや健康増進を目的に誰もが利用できる森林セラピーロードにより形成されるゾーンです。
松枯れによりアカマツが今後10年間で壊滅的な状況になることが否定できないことから、用材として活用する方針転換と植林（樹種転換）が求められています。

センターゾーン

こんなゾーンに

大芝湖を含め既存施設を適正に管理し、人や店舗、情報が集まるゾーンにします。

大芝荘については、民間と連携し、様々な手法を比較し、整備を検討していきます。

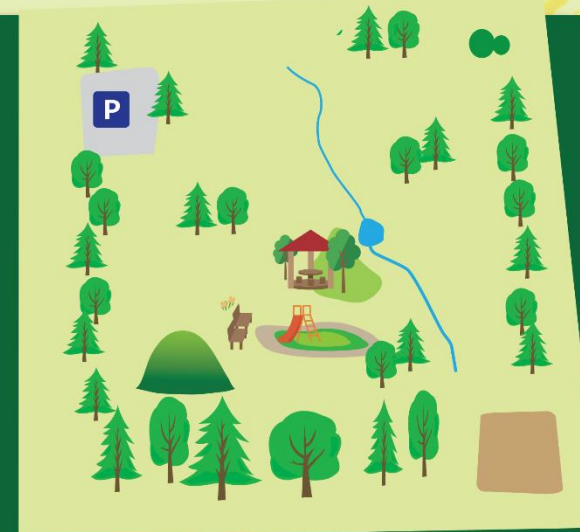


芝生ゾーン

こんなゾーンに

広い芝生地で、家族、友人、あるいは一人でも思い思いに余暇を過ごしてもらえるゾーンにします。

水の広場、築山を中心に、整備を検討していきます。

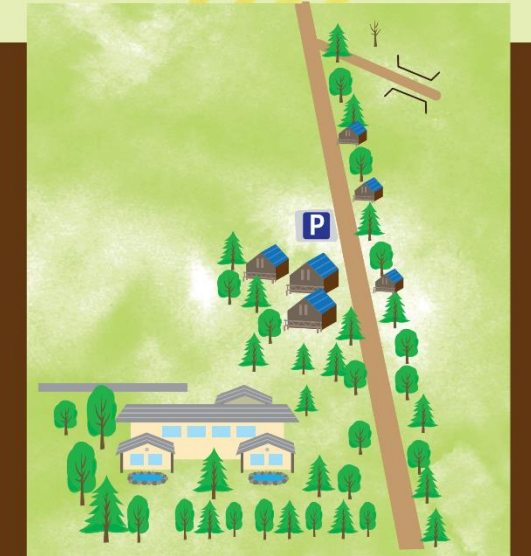


アウトドアゾーン

こんなゾーンに

利用客のニーズに対応する改修を進め、アウトドアを満喫できるゾーンにします。

大芝の湯駐車場、フリーキャンプサイトを中心に整備を検討していきます。



スポーツゾーン

こんなゾーンに

経年劣化した施設の改修および新規施設の整備を進め、幅広い世代が運動を楽しめるゾーンにします。

プール跡地の利活用、野球場やテニスコート、陸上競技場を中心に整備を検討していきます。

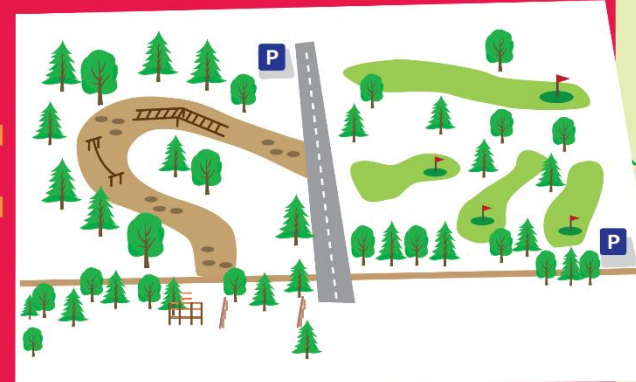


レクリエーションゾーン

こんなゾーンに

森の中で年代を問わずに体を使って思い切り遊べるゾーンにします。

アスレチックの森、マレットの森、遊具の森を中心に、整備を検討していきます。



森林セラピーゾーン

こんなゾーンに

森林づくり計画を基に整備を進め、静寂の中で癒しを得られるゾーンにします。

アカマツの松枯れ対策、赤松の小屋を中心に整備を検討していきます。
光が入る明るい森づくりを進めます。



大芝高原の森

ー50年の森林づくりへー

大芝の原野に植林を始めてから約130年の歳月がたった現在の大芝高原の森は、村木であるアカマツが上層を優占し、下層にはヒノキ、広葉樹、希少植物など豊かな自然を織りなす平地林となりました。なかには全国でも稀な100年以上の大径アカマツもあります。

大芝高原を訪れる利用者のニーズ※また大芝高原将来ビジョンアンケートなどでも、大規模な森林整備・改変は望まず、大芝高原の森をいつまでも残してほしいという声が大多数です。

森は、「森の恵み」「森の魅力」「森の力」など私たちにとってさまざまな価値がある存在です。100年以上かけて村民が植え、育て、守ってきた大芝高原のアカマツを最大限に有効利用しながら、村民の皆さんの共働による大芝高原の森林づくりが必要です。

※信州大学農学部「セラピーロード利用者アンケート調査」



アカマツの現況

村では平成18年度(2006年度)から薬剤の樹幹注入を行ってアカマツの保全に努めてきました。しかし、松枯れが平成29年(2017年)に発生し、今では、毎年100本以上のアカマツが枯損木となっています。

複数回の樹幹注入は、アカマツへの負担も大きく、多額の費用も要するため、令和元年度に中止しました。

現在のアカマツの衰退要因は、さまざまありますが、大芝高原が松くい虫被害の危険域(被害危険度MB指数の上昇※)であることと、アカマツ林の森林遷移が進行していることが大きく影響しているとされています。

このままでは、森林遷移がさらに進行し、最悪の場合は、今後10年以内にアカマツが衰退し、消滅する恐れがあります。

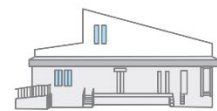
※MB指数とは
一年のうち平均気温が15℃以上の月について、平均気温から15を引いた値を合計したものであり、数値が低いほど寒冷、高いほど温暖な気候です。

アカマツの利活用

現在、大芝高原のアカマツは約13,000本ですが、このまま松枯れが増えると、先人から受け継いだ財産の喪失、ひいては村の大きな損失になってしまいます。

平成30年(2018年)に、アカマツについて用材利用を想定しランク付けを行ったところ、AA(上級)ランク5%、ABランクが21%、BAランクが10%、BBランクが24%、Cランクが29%、Dランクが6%、E(枯損)ランク5%の調査結果でしたが、近年の松枯れの影響でE(枯損)ランクが増大しています。

アカマツがただ衰退していくのを待つだけでなく、アカマツを用材などとして活用する発想の転換期にきています。

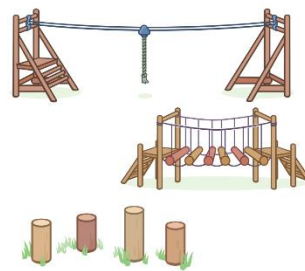


公共施設等の建築材、
木育(おもちゃ、箸 など)、



薪、木炭、ウッドチップ利用

(具体的)



アスレチックなど遊具活用



寺社仏閣の建築材

写真:諏訪大社上社へ
提供した大芝高原の
アカマツ

森林の循環

人の手によって『植える→育てる→収穫する』の
サイクルで適切に循環される森林は、半永久的につながっていきます。

大芝高原(みんなの森)利用者のニーズから、今後の方針を決定し整備を進めていきます。

- 森林資源・資質を有効かつ最大限に活用した森林空間のさらなる充実
- 利用者のニーズを反映した親しみのある多様な森林整備、環境づくり
- 衰退が危惧されるアカマツ林から耐性アカマツを含む他樹種への転換
- 木材の最大有効活用
- 希少植生など特徴的な大芝の自然環境の保護
- 未来につなぐ森林づくり



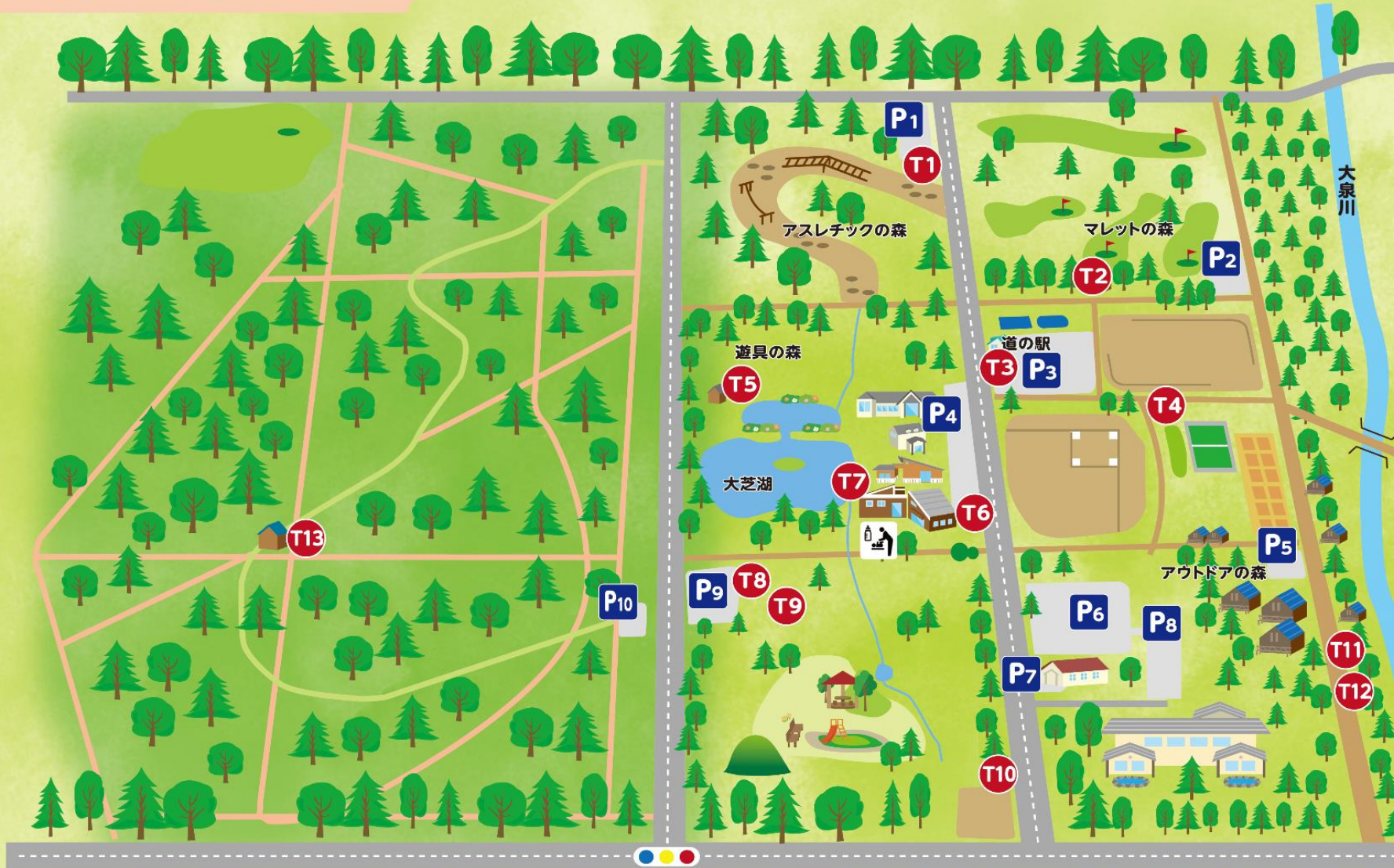
50年後に向けた 大芝高原の 森林づくりスタート

村は令和6年度(2025年度)に村制150周年を迎えます。この年を起点に200周年に向けて、50年の時を掛けながら、大芝高原の森林を再生する取り組みを展開していきます。伐採・植林計画、森林整備のゾーニング、植林樹種、維持管理など、関係機関(国、県、大学、林業等の関係者など)や、村森林協議会が連携して大芝高原森林づくり実施計画を策定します。また、企業やNPO法人、ボランティアや村民の皆さんが参加する共働の大芝高原の森林づくりをスタートします。

大芝高原の駐車場＆トイレ

大芝高原の利用者
誰もが利用する
駐車場・トイレなどの施設は

- ・自然景観に調和した施設配置を進めます。
- ・ユニバーサルデザインの考え方を取り入れた施設の配置を進めます。
- ・歩行者の安全確保のための環境づくりを進めます。



駐車場



自然景観との調和に配慮しながら、適正な駐車場の増設を検討していきます。現在の施設対応型の配置では、増設に限界があるため、電子案内板などで駐車場の空き状況をアナウンスするなど、公園利用者を的確に誘導することにより駐車場を一元集中化する方法も検討していきます。

	駐車場名	利用可能台数(台)
P1	マレットゴルフ場南 マレット利用者が利用しています。冬季は閉鎖します。	92
P2	マレットゴルフ場北側 いつも空いている穴場の駐車場です。	31
P3	道の駅大芝高原 大芝高原でイベントが重なると満車となる場合があります。	126 (うち大型10・障2)
P4	道の駅大芝高原(味工房) 電気自動車の急速充電器が設置されています。	97(うち障2)
P5	キャンプ場 キャンプ場利用者が利用しています。冬季は閉鎖します。	46
P6	屋内運動場西 大芝の湯の利用者が利用しますが、大芝の湯の建物まで距離があります。	128
P7	屋内運動場入口前	10(うち障2)
P8	ふれあい交流センター「大芝の湯」 林の中の駐車場で、斜度があり、大芝の湯の玄関までの距離があります。利便向上の要望があります。	37(うち障6)
P9	大芝湖東側 セラピーロード利用者が多く利用しています。時間によっては混雑し利用できない場合があります。	44
P10	みんなの森 時間によっては混雑し利用できない場合があります。	3(うち障3)

トイレ

公園全体のバリアフリー化のため、古いトイレの改修時には多目的トイレに改修していきます。芝生ゾーンの多目的広場内に、子どもも利用できる多目的トイレの設置を検討します。



	トイレ名
T1	マレットゴルフ場南(冬季は閉鎖します)
T2	マレットゴルフ場東
T3	道の駅大芝高原
T4	野球場北
T5	大芝湖西南
T6	道の駅味工房A
T7	道の駅味工房B

トイレ名

T8	大芝湖東多目的
T9	大芝湖東
T10	小運動場西(冬季は閉鎖します。)
T11	オートキャンプ場内トイレA(冬季は閉鎖します。)
T12	オートキャンプ場内トイレB(冬季は閉鎖します。)
T13	赤松の小屋

看板

環境に調和した統一感のある看板を引き続き設置していきます。西部広域農道沿いの誘導看板については三風デザインの採用に努めます。

※三風デザインとは…伊那谷の美しい風景を未来世代に受け継ぐために地元の企業や自治体などが共同で作上げたデザイン



参考資料

■ 大芝高原に関するアンケート調査の実施概要

大芝高原が将来どのような姿であってほしいかを把握するため、アンケート調査を実施しました。

【設問１】
大芝高原にどんな遊具施設(遊具)があったらいいと思いますか

【設問２】
大芝高原でやってみたいイベントはありますか

【設問３】
10年後の大芝高原はどのようなになっていたら良いとお考えですか

募集期間：2021年9月1日～9月30日
募集方法：南箕輪村役場Webサイトおよび広報みなみみのわにて広報しアンケートボックスを設置
設置場所：大芝高原味工房
ふれあい交流センター大芝の湯
南箕輪村役場
電子申請

意見総数：211件
居住内訳：南箕輪村民 98人
村民以外 113人
年齢構成：10代以下38人、20代44人
30代47人、40代31人
50代15人、60代17人
70代15人、80代以上4人

【設問２】

大芝高原でやってみたいイベントはありますか

フリーマーケット	夏休み昆虫採集	野外映画上映	火育（焚火体験など）
イルミネーション長期間	小中高校大学生のキャンプ	凧揚げ大会	スケートボード教室
自転車レース	全国グルメフェス	大食い大会	フォレストウェディング
クラフト展	音楽フェス	湖上落語会	ナイトウォーク

【設問３】

10年後の大芝高原はどのようなになっていたら良いとお考えですか

	内容	意見数
1	子どもだけでなく、高齢者も楽しめる場所、老若男女楽しめるところ	17
2	このままでいてほしい。いい公園です。	15
3	自然を保つ、今のまま緑の多い場所	9
4	家族連れで、手軽に、誰でも、一日中遊べる環境	8
5	スケートボードパークとして有名なスポット スケボーが常にできる場所	5
6	大芝スケボーパークで練習した子どもたちがオリンピックに出場する	3
7	心のオアシスになってほしい、癒し空間	2
7	県外からたくさんの人が集まる場所	2
7	お金をかけずに子どもたちが遊べる場所、子供向けのイベントを多くする	2
10	いろいろな人が使える場所、スポーツ公園	1
10	大芝湖の外来種（ミシシippiaアカミミガメ）の駆除	1
10	運動施設の利用料が高い、手続が面倒なので改善してほしい	1
10	道の駅らしい作りにしてほしい。地元のグッズの販売	1
10	松の木も、小鳥、虫、野草も残していきたい	1
10	若者から年寄りまで他市町村民より楽しめる場所。まずは村民を大切に	1
10	味工房の施設拡大	1
10	昔から受け継いだ大芝高原の良さや思い出を残しつつ、今の時代に合った村の観光地	1
10	今以上に自然の美しいところであるように	1
10	小学生から高校生が使える施設があると、もっと人が集まると思うのでこれからもどんどん増やして多くの人が楽しめる場所になってほしい	1
10	今は若い人が多くても、いずれ高齢化する。目先を見ず長い目で見て進めてほしい。10年はあつという間	1
10	誰でも遊べるインクルーシブな公園があり、自然ゆたかな高原でいてほしい	1
10	出会いの場として、人があふれかえる	1
10	涼しく過ごしやすい場所なので、幅広い施設ができ充実して一日過ごせる場所になってほしい	1
10	遊具以外の体を動かせる施設が欲しい	1
10	自然がたくさんあっていろんな遊びができる楽しい場所	1
10	四季によって大きなイベントを開催し、観光客が訪れる場所	1
10	10年後は温暖化が進んでいると思うから、暑さ対策、障がい者も利用できる優しいつくりの公園にしてほしい。自然災害時に避難所となる作りが必要	1
10	近場でも十分楽しめる場所	1
10	村民や村出身者が村を離れても将来思い出に残るような場所であったほしい（小・中・高校・大学の行事で積極的に利用してほしい	1
10	冬がさみしい印象なので、冬に人が集まる仕掛けづくりが必要	1
10	大芝高原の松くい被害が進んできているので、施設よりも植生の多様化を目指してほしい。	1

【設問１】

大芝高原にどんな遊具施設(遊具)があったらいいと思いますか

	内容	意見数
1	スケートボードパーク	88
2	アスレチックの充実	8
3	ドックラン	7
3	水遊びのできる場所・噴水	7
5	BMX（バイシクルモトクロス）	6
6	室内で遊べる施設	5
7	小動物の動物園	4
7	温水プール	4
9	釣り堀	3
9	インクルーシブ（公園づくり・遊具）	3
9	テニスコートの人工芝化	3
9	ハードのものはもういらない	3
13	バスケットボールコート	2
13	大型すべりだい	2
13	ゴーカート	2
13	陶芸や工作ができる施設	2
13	砂場	2
13	体育館	2

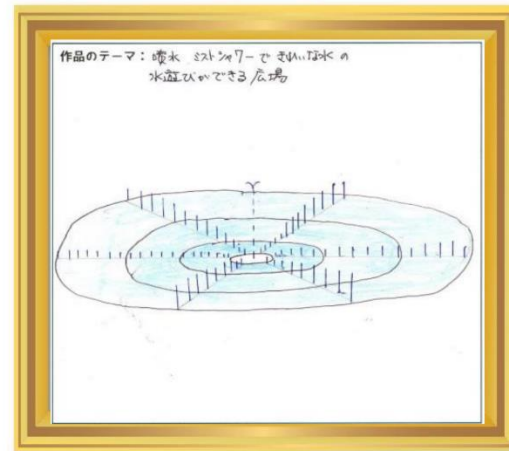
	内容	意見数
19	野球場の改修	1
19	ステージ	1
19	デイサービス施設	1
19	スノーボード・ソリ場	1
19	遊園地	1
19	森林浴しながら読書のできる場所	1
19	昆虫食文化発信施設	1
19	防災広場（かまどベンチ・多目的東屋等）	1
19	防犯灯を増やす	1
19	文化施設	1
19	木のぬくもりが感じられる施設	1
19	巨大迷路	1
19	卓球施設	1
19	ネットカフェ	1
19	ボール遊びのできる施設	1
19	サウナのみの施設	1
19	居酒屋	1
19	屋外用筋トレ器具設置	1

あつまれ！大芝の森 コンテスト

多くの世代から、大芝高原に関する自由で独創的なアイデアや想いを集めることを目的に「あつまれ！大芝の森コンテスト」を実施しました。大芝高原将来ビジョンにもアイデアのいくつかを取り込んでいきます。



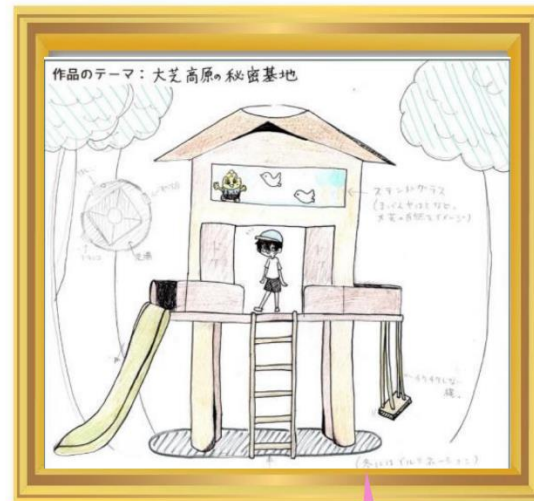
きれいな水で子どもたちが遊べる場所があればいいな。



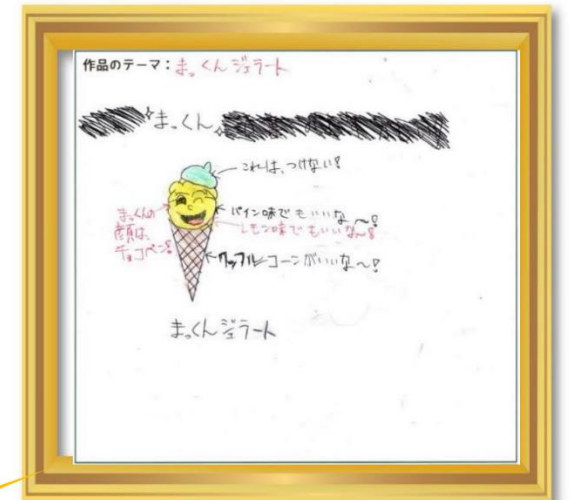
築山を利用してソリ滑りして遊びたい



大きな遊具があれば楽しい



まっくんジェラートあったらいいな



バスケットゴールほしいな



大芝には犬がたくさんいるからドッグラン作ってほしい。



木に囲まれた「緑陰カフェ」でお茶したり本を読んだりできたら、毎日通います。でも、犬が苦手なので、犬がいると帰ります。ドッグランをつくってほしい。

